



西田 稔 議員

**江名子川治水プランは  
住民の安心・安全と景  
観保全の2本立てで!**

**江名子川の  
増水対策について**

圃平成26年度に改訂された県の宮川流域における総合的な治水対策プランでの江名子川整備の進捗状況は。

【答】20〜30年の中長期整備は県道の江名子橋付近から下流へ宮川合流点までの区間において、河道拡幅と河床掘削が実施される計画である。また江名子橋上流付近において調節池の整備も計画されている。

【問】10年の短期整備は宮川合流点付近、愛宕橋下流、荏名神社付近の特に洪水被害が大きかった箇所、河床掘削と、愛宕橋下流においては一部河道拡幅が計画されている。

江名子川上流域調節

池整備計画は今後、地質調査実施と聞いていたが1〜2年内の調査開始と考えて良いか。

【答】そのように理解しているが引き続き要望していく。

**学校図書司書について**

【問】児童数、蔵書数、市中心からの利便性等理由はあろうが全校配置が望ましい。市教委の考えは。

【答】図書館は読書、学習情報センターとしての機能の重要性が高まってきている。また子どもが図書館指導員に悩みを相談することができるとの居場所となるよう環境を整えたい。図書館指導員の全校配置を検討中である。



車戸 明良 議員

**木材で10階建てビル  
(新たな木質建築材  
料CLT)**

CLTとは、挽き板を繊維方向が直交するように積層接着した大型面材、用途や要求強度に応じた材料を製造できる。「木の塊」とも言える建築材料。ヨーロッパやカナダ、アメリカでも普及が進みつつある。「コンクリートや鉄から木へ」世界的にも大きな転換期を迎えているといわれている。

**地域産材を活用した  
建築材料CLT(直交  
集成板)の取り組み  
について**

【問】高山市の93%近くが山林。森林資源豊富なこの地方が、中山間地域に活力を呼び出し地方創生を成し遂げるためには、利用期を迎えている人工林など豊かな森林資源を活用し、



木本 新一 議員

**市民生活の  
安心と  
利便性  
を求めて!**

**射撃場建設に向けて**

【問】射撃場建設に向けて射撃場に対する市の考えは。

【答】鳥獣被害防止と市民の安全確保のため捕獲技術向上や後継者育成など、猟友会充実に必要な施設である。

【問】建設事業費は多額が予想される中、取付市道改修は公益性が高く、市として拡幅整備すべきでは?

【答】開発区域の取付市道は事業者が実施し、後は市で管理する。

【問】国道三六一号から美女高原への最短道路として二年前、市道改良要望書が関係者多数で市に提出された。将来射撃場の運営にも多大な効果が期待できる。改良推進は?

【答】現況では難しい状況にある。

**国道三六一号線改良**

【問】期待望の上ヶ洞トンネル(仮称)完成間近である供用開始は何時か。又、「下の向大橋」上流側の急勾配・急曲線は危険である。中之宿地内を含め改修は?

【答】供用開始は来年度早々の予定である。来年度中之宿地内の改修予定で、その後「下の向大橋」の方向だ。

【問】南部アクセス道路(飛騨ふるさとトンネル)から朝日町見座地区へは、農道完了当時から開設方向が岐阜県で検討され、上ヶ洞トンネル完了後に再検討との認識だ。市として県に要望を求め、

【答】県と協議する。



木造(CLT)の18階建ビル